

ロシア民謡集の研究（１）：18 世紀末から 19 世紀にかけてロシアで刊行された民謡集について

A Study of the Collections of Russian Folk Songs (1) : A Survey of the Collections Published from the End of the 18th Century through the 19th Century.

安 原 雅 之

YASUHARA Masayuki

A number of collections of Russian folk songs were published in Russia from the end of the 18th century through the 19th century. Except some, including the famous Lvov-Prach collection, they are practically forgotten. Because of their utilitarian features, it seemed that they worth little as the heritage of the folk tradition, neither as songs to be sung with the piano accompaniment.

This study attempts to synthesize the components of the collections as a whole, and reevaluate how they contributed to formulate the tradition Russian music in the second half of the 19th century.

キーワード：ロシア 民謡集

collections of Russian folk songs

0. はじめに

真のロシア音楽の歴史は、19 世紀になってようやく、格林カ Mikhail Ivanovich Glinka (1804-1857) の登場を以てはじまった。そしてその後、バラキレフ Mili Alekseevich Balakirev (1837-1910) を中心とする、いわゆる“ロシア 5 人組”と、サンクトペテルブルク音楽院を 1 期生として卒業したチャイコフスキー Pyotr Il'ich Tchaikovsky (1840-1893) が台頭し、ロシア音楽は飛躍的な成長を遂げることとなった。その発展のプロセスにおいて、西洋音楽のテクスチュアに、いかにロシア的な要素を取り込むかという課題に対峙するなかで、ロシア民謡は作曲家にとって非常に重要な要素であった。

たとえば格林カの場合、「召使たちが歌う民謡を通して、初めて音楽に接した (Campbell)」と語られているが、19 世紀に活躍した作曲家たちはみな貴族階級の出身であり、格林カにとっても、民謡はある意味で異文化であったと言えよう。つまり、民謡は作曲家たちの日常生活に根付いたものではなく、創作のために探求すべき素材であった。そのような状況のなかで、「ロシア民

謡集」は、計り知れない可能性を秘めた靈感の源であったに違いない。

ロシアにおいて出版された「民謡集」については、リヴォフ Nikolay Aleksandrovich Lvov (1751-1804) とプラーチ Ivan Prach [Johann Gottfried Pratsch] (1750-1818) によって編纂された民謡集など、いくつかの存在は知られているが、それらが研究対象となることはほとんどない。多くの「民謡集」については、その存在すら知られていないと言っても過言ではない。

そのような状況の背景に、「民謡集」の特質が大きく関与している。というのは、ほとんどの民謡集で、民謡は西洋音楽の理論に裏付けられたピアノ伴奏付きの楽譜として記譜されており、かならずしも民謡本来のかたちを提示しているとは言えない。そして、そのような理由から、音楽民族学的な民謡の研究にとっては、重要視されない。また、ピアノ伴奏がついていても、それらは実際に声楽曲として歌唱したり、あるいは鑑賞するに相応しいものでもない。当然ながら、その結果、伴奏を伴った「民謡集」は軽視されてきた。

19 世紀のロシアでは、作曲家が自ら民謡の採譜／収集を行わない限り、作曲家たちは、当時ロシアで出版されていた数々の「ロシア民謡集」に収録された楽譜から民謡を知ったと考える方が妥当であろう。バラキレフは自ら収集していたが、リムスキー＝コルサコフ Nikolai Andreevich Rimsky-Korsakov (1844-1908) やチャイコフスキーなどのように、自ら現地に赴いて民謡を収集したわけではないが、「民謡集」を編纂して出版している場合もある。

いずれの場合も、採集された民謡は、西洋音楽の理論に裏付けられた記譜法にそって採譜・記譜され、多くの場合ピアノ伴奏が付されることによって、民謡はそれぞれ本来持っていた特質を失い、かつ、変容しつつ伝承される民謡としての伝統は終わることになる。しかし、記譜されることで、民謡は消滅することなく、記譜された音楽として残ることになったのである。

複数の民謡集に収録されている曲を比較すると、一部は共通していることがわかる。つまり、当時出版された民謡集に含まれるレパートリーを集約することによって、当時伝わっていた民謡の総体を浮かび上がらせることができる。また、民謡本来の特質は失っていても、記譜されて残ったレパートリーは、異次元の民謡、いわば“メタ民謡”として捉えることができるのではないだろうか。

本研究は、そのようなメタ・ロシア民謡に焦点をあて、19 世紀におけるロシア音楽の発展に、ロシア民謡がどのように関与したかを明らかにすることを目的としている。

本稿は、その第 1 段階として、18 世紀末から 19 世紀にかけてロシアで出版された「ロシア民謡集」を体系的に概観するものである。

1. 主なロシア民謡集¹

1.1 初期の 3 つの民謡集

最も古いロシア民謡集として、次の 3 つのコレクションを挙げることができる。

1.1.1 Mikhail Dmitrievich Chulkov. *Sobraniye raznikh pesen* [さまざまな歌のコレクション] . 4

vols. 1770-1774.

印刷された民謡集としては、最も古いものである。楽譜は含まれておらず、歌詞のみが掲載されている。ミハイル D. チュルコフについては、詳細不詳²。

タイトルの「さまざまな」が示唆するように、民謡以外のものも含まれるが、1770年に出版された第1巻では、約200曲のうち、第121番以降が民謡の歌詞となっている。同じく1770年に出版された第2巻以降も、同じような内容である。第3巻は1773年、第4巻は1774年に出版された。

1.1.2 Vasilii Fedorovich Trutovsky. *Sobraniye russkikh pesen s notami* [楽譜付きロシア民謡集] . 4 vols. 1776-1795.

V. F. トルトフスキー (ca. 1740-ca. 1810) は、民謡収集家であり、また民族楽器ゲースリ³の奏者としても有名であった。

これは、楽譜を含む民謡集として最も古いものである。それぞれ20曲を含む4巻からなり、それらは1776年、1778年、1779年、1795年に出版された。楽譜は、単旋律の歌のパートともうひとつの単旋律で構成されているが、後者は恐らくゲースリを想定したものであると考えられる⁴。

この民謡集に含まれる曲が、V. A. パシュケーヴィチ (1742-1797)、A. N. セローフ (1821-1871)、M. P. ムソルグスキー (1839-1881) らのオペラなどに引用された。

1.1.3 Nikolay Aleksandrovich Lvov and Ivan Prach. *Sobraniye russkikh narodnikh pesen s ikh golosom* [旋律つきロシア民謡集]. 1790.

リヴォフとプラーチによる民謡集は、一連のロシア民謡集のなかでも最も良く知られているもので、歴史的にも最も重要なものと言えよう。

ロシアの音楽事典によれば、リヴォフは文化的な活動家で、かつ考古学と地質学の研究者、建築家、芸術家、詩人、音楽家、民謡収集家であり、ロシア科学アカデミー (1783-) とサンクトペテルブルク芸術アカデミー (1786-) の会員であった (Keldysh 1981-III: 345)。また、タラスキンによれば、地主でもあったリヴォフは、芸術的および科学的興味や、あるいは娯楽のために、海外も含めて旅行で各地をまわった。また、当時のロシアにおける著名な芸術

¹ ここで取り上げるのは、リムスキー＝コルサコフの全集に含まれる〈民謡集〉の解説に掲載されている民謡集 (Rimsky-Korsakov 1952: 300) および、その他の文献で言及されるいくつかの民謡集である。

² 生没年については、1743-1792 (Keldysh 1990: 158) と、1740-1793 (Findeizen 2008: 551) という表記がある。フィンデイゼンによれば、チュルコフは俳優、ジャーナリスト、出版者、歴史家、民族文化関連の収集家といった、多彩な活動をおこなった人物である (Findeizen 2008: 552)。

³ ロシアに古くから伝わる撥弦楽器。

⁴ この民謡集からの11曲の譜例がフィンデイゼンの著作に付録として収録されている (Findeizen 2008: 354-361) : part 2 - no. 14; part 3 - nos. 3, 6, 17, 18, 20; part 4 - nos. 5, 7, 9, 19, 20.

的サロンの常連メンバーでもあった (Taruskin 1997: 4)。

ブラーチは、チェコ出身の作曲家、教師、民謡収集家であり、人生の大半をロシアで過ごした。

リヴォフとブラーチは、共同でロシア民謡集を編纂している。初版は 100 曲の民謡を含むもので、1790 年にサンクトペテルブルグで出版された。それは、ロシアの田舎と都市の両方で採集された民謡を含み、楽譜は、歌詞付きの民謡の旋律に鍵盤楽器様の伴奏が付されたものとなっている。また、1 曲ごとに歌詞が併記されている。この「100 のロシア民謡による画期的な大要 (Taruskin 1997: 16)」は、ロシア民謡を代表する重要な資料となり、その後内容も増え、版を重ねることとなった。1806 年に出版された第 2 版では、初版の 100 曲のうちの 97 曲に、新たに 53 曲が加えられ、計 150 曲が収録された。そして、第 3 版が 1815 年に、また、新しいイントロダクションが含まれた第 4 版が 1896 年に出版された。20 世紀になっても、第 5 版がモスクワで出版された。また、1987 年には、1806 年版のファクシミリ版が、英語による解説付きでアメリカで出版されたことで、この民謡集が容易に入手できるものとなった。

フィンデイゼンは、上記の 3 つの民謡集に含まれる曲のリストを並列させることによって、これらの相互関係を明らかにしている。その一覧表から、トルトフスキーの民謡集に含まれる計 80 曲のうち、19 曲はチュルコフによるテキストを使っており、また、リヴォフの民謡集は、それら 19 曲のうちの 15 曲を含み、さらに別の 18 曲が別のチュルコフによるテキストを使っていること、つまり、リヴォフの民謡集に含まれる 100 曲のうち 33 曲のテキストは、チュルコフの民謡集から採用されていることがわかる (Findeizen 2008: 238-241)。

1.2. 19 世紀に出版された主要なロシア民謡集

- 1.2.1 Daniil Nikitich Kashin. *Russkie narodnie pesen, sobrannye i izdannye dlya pesen s fortepiano Daniilom Kashnim* [ダニール・カーシンによって収集・出版された、歌とピアノのためのロシア民謡集] . 3 vols. Moscow, 1833-34. (2nd edition 1841).

ダニール N. カーシン (1770-1841) は、ロシアの作曲家、ピアニスト、ヴァイオリニスト、指揮者、教師、民謡収集家。民謡の収集し、それらを 1806 年から 9 年にかけて音楽雑誌『国民音楽ジャーナル *Zhurnal otechestvennoi muzyki*』で発表し、その後、それらをまとめて 3 巻から成る民謡集を編纂した。バラキレフは、〈3 つのロシアの歌による序曲 *Uvertura na temi tryokh russkikh pesen*〉(1858) の 3 つ目の歌に、カーシンの民謡集の 1 曲を使っている。

- 1.2.2 Konstantin Petrovich Vil'boa [Villebois]. *Russkie narodniye pesen, zapisannye s narodnogo napeva i aranzhirovannye dlya adnogo golosa s akkompanimentom fortepiano K. Vil'boa* [ロシア民謡：ヴィリボアによって採譜・記譜され、ピアノ伴奏が付された単声用] . Sanktpeterburg: F. Stellovsky, 1860.

K. P. ヴィリボア（1817-1882）は、ロシアの作曲家、指揮者。この民謡集は、ヴィリボアが民謡を採譜し、ピアノ伴奏付きの独唱用に編曲したもの。ロシアの音楽事典によれば、100曲収録されており、1894年に第2版が出版された。また、それらの曲を器楽用に編曲したものが、*150 Russkie narodniye pesen* [150のロシア民謡]として出版された。

- 1.2.3. Mily Balakirev. *Sbornik russkikh narodnikh pesen*. [ロシア民謡集] Sankt-Peterburg: A. logansen 1866. (2nd edition, Leipzig: M. P. Belaieff, 1895; French edition, translated by J. Sergennois, Leipzig: M. P. Belaieff, 1898.)

“5人組”の主導的役割を果たしたバラキレフは、ロシア民謡にはとりわけ強くひかれ、ボルガ川流域やカフカス地方を訪れて民謡を収集した。この民謡集にはピアノ伴奏付きの全40曲が収録されており、それぞれ歌詞が付されている。

- 1.2.4. Pyotr Il'ichi Tchaikovsky. *50 russkikh narodnykh pesen dlya fortepiano v 4 ruki* [50のロシア民謡、4手のピアノのための] . Moscow: Yurgenson, 1869.

この4手のピアノのための曲集は、音楽出版者であるユルゲンソンの委嘱により、1868年から69年にかけて編曲された。当時まだ若手作曲家だったチャイコフスキーは、先輩格の作曲家バラキレフに教えを請いながら幻想序曲〈ロメオとジュリエット〉の作曲を進めていた。ロシア民謡の編曲についても、チャイコフスキーはバラキレフに書簡で質問しながら進めた。

この曲集の前半はロシアの作曲家ヴィリボア（1817-82）が収集した民謡集から、後半のほとんどはバラキレフが編んだ民謡集から選んだもので、チャイコフスキーはさまざまな工夫を凝らして4手用に編曲している。

- 1.2.5. Pyotr Il'ichi Tchaikovsky. *Russkie narodnyye pesen dlya odnogo golosa s coprovozhdением fortepiano, sobrannye i pereložhennye v Prokuninym pod red Professora P. Chaikovskogo* [単声とピアノの為のロシア民謡集、P. チャイコフスキー監修、プロクーニンの編曲による] . Moscow, 1872.

これは、モスクワ音楽院でチャイコフスキーの教え子だったワシーリー・パーヴロヴィチ・プロクーニン（1848-1910）が1870年代に収集したロシア民謡を、チャイコフスキーが改訂・編集し、1872年から73年にかけて2部に分けて出版されたもの。いずれも短い曲で、ピアノ伴奏譜が付されている。また、曲名の下に、採集した地名も記されており、民謡の標本のようにまとめられているのだが、チャイコフスキー自身、ここから多くの旋律を引き出して自らの作品に引用している。当時、チャイコフスキーは付随音楽《雪娘 *Snegurochka*》op. 12 を作曲していたが、そのなかで、彼はこの民謡集の2、6、19、23、25、31番を使っている。また、第5番と11番はオペラ《鍛冶屋のヴァクーラ *Kuznets Vakula*》op. 14 に引用

されているほか、第 39 番は交響曲第 1 番の第 4 楽章に用いられている。

- 1.2.6. Aleksandr Ivanovich Rubets. *265 narodnikh ukrainskikh naperov* [265 のウクライナ民謡] . Moscow, 1872.

A. I. ルベーツ (1838-1913) は、音楽理論家、教師、民族学者、作曲家であった。音楽関係のさまざまな教科書を書いた。この民謡集に含まれる曲は、チャイコフスキー、リムスキー＝コルサコフ、ムソルグスキーなど、多くの作曲家に使われた。彼は、ラフマニノフに和声を教えた人物であり、また、リムスキー＝コルサコフには同僚として直接的な影響を与えたと言われている。

- 1.2.7. Nikolai Andreevich Rimsky-Korsakov. *100 Russkikh narodnikh pesen dlya golosa s fortepiano* [100 のロシア民謡、単声とピアノのための] , op. 24. 1876.

リムスキー＝コルサコフ全集の第 47 巻に、〈100 のロシア民謡集〉 Op. 24 と、〈40 の民謡：T. I. フィリッポフによって採集され、N. A. リムスキー＝コルサコフによって和声づけされた〉が含まれている。リムスキー＝コルサコフは、1875-76 年のシーズンに、新しい作品の話が持ち上がり、その際に、自身でコレクションを編纂することすら考えるようになったこと、そして彼自身は、その時点では、バラキレフによる民謡集しか知らなかったと記している。

- 1.2.8. Nikolai Andreevich Rimsky-Korsakov. *40 narodnikh pesen dlya golosa s fortepiano* [40 の民謡、声楽とピアノのための] , op. 24. 1876.

T. I. フィリッポフ (ロシア民謡の愛好者であり、それらをすばらしく歌っていた人物であり、しかし自身が音楽家ではない) が歌うものから記録し、ピアノ伴奏をつけるのはどうかと提案されて、編集されたもの。フィリッポフが歌ったものから記録した歌は、ほとんどが叙情的なものであった。

- 1.2.9. Mily Balakirev. *30 Pesen russkogo naroda* [30 のロシア民謡] . Moscow, 1898.

他の研究者によって集められたロシア北部の民謡を用いて、バラキレフが 4 手のピアノ用に編曲したものである。全体は 5 つのカテゴリーに分けられており、最初の 5 曲には宗教的な歌が含まれている。

2. その他の民謡集⁵

- 2.1. Mikhail Aleksandrovich Stakhovich. *Sobranie russkikh narodnykh pesen* [ロシア民謡集、テキストと旋律を収集しミハイル・スタホヴィチによるピアノ伴奏あるいは 7 弦ギターのための音楽集] . Vols. 1-2, Sankt-Peterburg, 1851, 1852: vols. 3-4, Moscow, 1854.

- 2.2. P. I. Yakushkin. *Russkie narodnye pesni, sobrannye P. I. Yakushkin* [ロシア民謡集、ヤクーシキ

ン編] . 1860.

2.3. Pëtr Alekseevich Bessenov (Bezsonov). *Kaliki-perekhozhie*. 6 vols. Moscow: 1861-64.

2.4. A. A. Kraevsky, ed. *Narodnye russkie pesni iz sobranii P. Yakushkin* [P. ヤクーシンによって収集されたロシア民謡集] . Sankt-Peterburg, 1865.

2.5. Matvey Ivanovich Bernard. *Pesni russkogo naroda dlya peniya s fortepiano* [声楽とピアノのためのロシア民謡] . 4 vols. Sankt-Peterburg, 1866.

2.6. *Russkie narodnye pesni, sobrannye P. V. Sheinom* [R. V. シェインによって収集されたロシア民謡] . Part 1, Moscow: Moscow State University, 1870.

2.7. V. Vopotnikov. *80 russkikh narodnykh pesen* [80のロシア民謡集] . 3 vols. Sankt-Peterburg, 1870.

2.8. Aleksandr Ivanovich Rubets. *Sbornik russkikh narodnykh pesen* [ロシア民謡集] . Sankt-Peterburg, 1875.

2.9. Fyodor Istomin and Georgiy Ottonovich Dyutsh. *Pesni russkogo naroda* [ロシアの民族の歌] . Sankt-Peterburg, 1886.

2.10. Danilov, Kirsha. *Drevnie rossiiskie stikhotvoreniya, sobrannïe Kirsheyu Dnilobim i vtorichno izdannie s pribavleniem 35 pesen i skazok, dosele neizvestnikhm i not dlya napeva* [ロシアの田舎の詩、声楽のための楽譜付き] . Moscow: 1818. (reprinted in Moscow in 1878, and in Sankt-Peterburg, 1892)

3. おわりに

今回の調査で、18世紀末から19世紀にかけてロシアで出版された「ロシア民謡集」を約20冊挙げることができた。それらに含まれる曲はかなり重複していることも確認できた。また、これらの民謡集に含まれる曲が、さまざまな作曲家による、さまざまな作品に、主題として使われていることがわかった。

今後は、これらの民謡集に含まれる民謡のレパートリーをデータベース化し、民謡集同士の相互関係を詳細に分析すると共に、データベースからロシア民謡の総体を明らかにする。

⁵ リムスキー＝コルサコフの全集に含まれる〈民謡集〉の解説に掲載されている民謡集（Rimsky-Korsakov 1952: 300）のなかで、まだ詳細が不明なものをここにリストアップした。

主要参考文献表

- Bakst, James. *A History of Russian-Soviet Music*. New York: Dodd, Mead & Company, 1962.
- Campbell, Stuart. "Glinka, Mikhail Ivanovich." *Grove Music Online. Oxford Music Online*. Oxford University Press, accessed November 1, 2015, <http://www.oxfordmusiconline.com/subscriber/article/grove/music/11279>.
- Findeizen, Nikolai. 2008. *History of Music in Russia from Antiquity to 1800, vol. 2: The Eighteenth Century*. Translated by Samuel William Pring. Edited and annotated by Milos Velimirović and Claudia R. Jensen. Bloomington: Indiana University Press.
- Garden, Edward. *Balakirev: A Critical Study of his Life and Music*. London: Faber, 1967.
- Keldish, Yuri. *Muzykal'naya entsiklopediia I - V*. Moscow: Sovetskaya entsiklopediia, 1981.
- _____. O. Levasheva. *Istoriya russkoi muziki. Vol. 1: S Drevneishikh vremen do serediny XIX veka*. Moscow: Muzika, 1990.
- Lvov, Nikolai, and Ivan Prach. *Collection of Russian Folk Songs*. Malcolm Hamrick Brown, ed. Ann Arbor: UMI Research Press, 1987.
- Norris, Geoffrey. "Pratsch, Johann Gottfried." *Grove Music Online. Oxford Music Online*. Oxford University Press, accessed November 1, 2015, <http://www.oxfordmusiconline.com/subscriber/article/grove/music/22266>.
- Norris Geoffrey, et al. "L' vov." *Grove Music Online. Oxford Music Online*. Oxford University Press, accessed November 1, 2015, <http://www.oxfordmusiconline.com/subscriber/article/grove/music/45811pg1>.
- Olkhovsky, Yuri. Vladimir Stasov and Russian National Culture. Ann Arbor: UMI Research Press, 1983.
- Petrovskaya, I. *Istochnikovedenie istorii russkoi muzikalnoi kul'tury XVIII – nachala XX veka*. Moscow: Muzyka, 1989.
- Rabinovich, B. I. ed. *P. I. Chaikovskii I narodnaya pesnya: Izbranné otrivki iz picem I statei*. Moscow: Gosydarstvennoe muzikal'noe izdatel'stvo, 1963.
- Ritzarev, Marina. *"A Singing Peasant": An Historical Look at National Identity in Russian Music*. http://www.biu.ac.il/HU/mu/min-ad/07-08/Ritzarev-A_Singing.pdf, accessed November 6, 2015
- Sobolev, P. "Krisha Danilov." *Fundamental'naya elektronnyaya biblioteka Russkaya literature I fol'klor*. FEB-web "Russian Literature and Folklore." Accessed November 1, 2015, <http://feb-web.ru/feb/litenc/encyclop/le5/le5-2231.htm>
- Taruskin, Richard. *Defining Russia Musically: Historical and Hermeneutical Essays*. Princeton: Princeton University Press, 1997.
- _____. "Vil'boa, Konstantin Petrovich." *The New Grove Dictionary of Opera. Grove Music Online. Oxford Music Online*. Oxford University Press, accessed November 1, 2015, <http://www.oxfordmusiconline.com/subscriber/article/grove/music/O004636>.
- Vajdman, Polina ed. *Thematic and bibliographical catalogue of P.I. Tchaikovsky's (P.I. Čajkovskij's) works*. Moscow: P. Jurgenson, 2006.

民謡集

- Balakirev, Mily. *Russian Folk Songs for Voice and Piano*. Yevgeny Vladimirovich Gillius, ed. Moscow: Muzgiz, 1957.
[http://imslp.org/wiki/Russian_Folk_Songs_for_Voice_and_Piano_\(Balakirev,_Mily\)](http://imslp.org/wiki/Russian_Folk_Songs_for_Voice_and_Piano_(Balakirev,_Mily)) accessed November 1, 2015
- . *A Collection of Popular Russian Songs*. Sankt-Peterburg: A. Iogansen, 1866.
<http://conquest.imslp.info/files/imglnks/usimg/b/bf/IMSLP352523-SIBLEY1802.14126.d88a-39087012505980score.pdf> accessed November 1, 2015
- . *A Collection of Popular Russian Songs*. 2nd edition. Leipzig: M. O. Belaieff, 1895.
http://petrucci.mus.auth.gr/imglnks/usimg/7/71/IMSLP03555-Balakirev_-_Collection_of_Popular_Russian_Songs.pdf accessed November 1, 2015
- . *A Collection of Popular Russian Songs*. French text by J. Sergennois. Leipzig: M. O. Belaieff, 1898.
<http://imslp.nl/imglnks/usimg/f/f8/IMSLP270622-SIBLEY1802.25446.298d-39087012505998score.pdf> accessed November 1, 2015
- Lvov, Nikolai, Ivan Prach. *A Collection of Russian Folk Songs (Classics of Russian Musical Folklore in Facsimile)*. Malcolm Hamrick Brown, ed. Ann Arbor: UMI Research Press, 1987.
- Prokunin, N. 65 Russian Folk Songs. Ed. by P. I. Tchaikovsky. Moscow: P. Jurgenson, 1897-98.
<http://japanese.imslp.info/files/imglnks/usimg/3/39/IMSLP91731-SIBLEY1802.14016.e8c0-39087011983329score.pdf> accessed November 1, 2015
- . *65 Russian Folk Songs*. Ed. by P. I. Tchaikovsky. Moscow: Muzgiz, 1949. (Polnoe sobranie sochinenii, vol. 61)
http://petrucci.mus.auth.gr/imglnks/usimg/a/ac/IMSLP21309-PMLP49171-Tchaik_TH183.pdf accessed November 1, 2015
- Rimsky-Korsakov, Nicolai. *100 Folk Songs with piano accompaniment, op. 24*. Compiled by N. Rimsky-Korsakov, Melville: Belwin Mills, n.d.
- . *Sobraniki russkikh narodnikh pesen*. Moscow: Gosydarstvennoe muzikal'noe izdatel'stvo, 1952. (Polnoe sobranie sochinenii.)
- . *100 Folk Songs with Piano Accompaniment, op. 24 : with English and Russian text compiled by N. Rimsky-Korsakov*. (The complete works of Nicolai Rimsky-Korsakov) Belwin-Mills, c1982
- . *40 folk songs with piano accompaniment : with English and Russian text collected by Filippov ; harmonized by N. Rimsky-Korsakov*. (The complete works of Nicolai Rimsky-Korsakov) Belwin-Mills, c1982.
- Villebois, C. *Air nationales russes pour piano a 2 mains*. Moscow: P. Jurgenson, n.d.
<http://petrucci.mus.auth.gr/imglnks/usimg/e/e2/IMSLP92458-SIBLEY1802.14152.0afa-39087012507473score.pdf> accessed November 1, 2015